

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のためのフリーペーパー

真

田

いきいき♪

生き生き ふるさと通信

第58号 2019年 7月 1日発行【真田地域に全戸配布】



表紙を飾る集合写真は、山家神社様の平成31年4月14日の例大祭の物です。

地元の子供たちの巫女さん姿、とてもかわいらしいですね。

延喜式神名帳にその名のみえる「山家神社」は小県郡の山間部に位置する古社であり、その御神体である四阿山より見晴らす神川水域一帯の神として広い信仰を受けてきました。食物の実りを、故郷の安寧を、人々の無事を、大きな自然の中の一部として、生かされていることに感謝し、祈りを捧げ、掌を合わせたことが山家神社の始まりです。そしてその祈りは、生物の命が続いていくのと同じく、今までに続いています。（HPより引用）

※ホームページではカラーでご覧いただけます。



真田町の社長さん 第29回

山家神社 押森様の巻



真田町の名所とも言われる山家神社。今回は、そこで神主をしておられる押森慎様にお話を伺ってきました。

HPにも大きく書かれている「郷生」という文字。「故郷と共に生きる」という意味だそうです。その言葉通り、押森様は一旦真田町を離れたものの、平成26年に戻られ「故郷っていいな」と子供たちが思って皆が戻ってきてくれるような町づくりをしたいと日々奮闘されています。

ここ最近、世間でも流行している「御朱印」をきっかけに、他県からの参拝者も少しずつ増えてきている中、来てもらった人に真田町の良さをもっと知ってもらい、感動してもらいたいと昔からある文化や地域での取り組みに目を向けるようになったそうです。

神社でのお祭り、雅楽、地元の子供たちの巫女の舞等地域の人々による地域のための活動。それが大事だと押森様はいいます。雅楽もプロがやるのでは意味がない、素人でいいから音が外れてもいいから地元の住民がやることに意味があるのだと。特別なものでなく、当たり前のように目を向け、地域の住民が交流し助け合っていてほしい、その手助けができればいいと思っていると話してくださいました。

四阿山の祠の建て直しの時も自然を敬う気持ちを大切に、自分たちの手で立て直したいという押森様の思いにみなが賛同し、地域の方やボランティアの方200人余りの力で山道を歩いて資材を運び建て直したそうです。

押森様はお父様を早くに亡くされ、現在35歳という若さで神主をされていらっしゃるそうです。もともと継ぐつもりはなかったという押森さん。なぜお気持ちが変わられたのですか？という質問に対し、自分の名前の由来を、あるとき家族以外の人から聞いたことがきっかけだったといいます。「慎（まこと）」という字は真田の心を伝えていかれるようにと父がつけてくれたものだと聞かされた時に自分の使命だと感じたと話してくださいました。お話を聞いて、そのお名前の通り、真田町を愛し真田町のために尽力して下さっていることがひしひしと伝わってきました。



「真田町はとても魅力がある町です。歴史があり、豊かな自然があり、そこに住んでいる人々の優しさがある。このすばらしい地域でまだまだやりたいことがたくさんあります。この町のために、これからもがむしやりに挑戦し続けます。」と輝く笑顔で話してくださいました。

真田町の未来はとても明るいです。

みなさん、ぜひ山家神社に足を運んでみてください。歴史や自然を感じるだけではなく、素敵な笑顔の神主さんからパワーをもらえます。

押森様どうもありがとうございました。

上田市社会福祉協議会 真田地域包括支援センターだより

真田地域包括支援センターでは4月に職員の異動があり、新たに4名の職員が加わりました。どうぞ、よろしくお願いたします！

真田地域包括支援センターの職員を紹介します



真田地域 包括支援センター長 山宮正久	主任 ケアマネージャー 中山佑子	看護師 山寄利恵	社会福祉士 市村美智恵	生活支援 コーディネーター 山本高之
---------------------------	------------------------	-------------	----------------	--------------------------

「お互いさまで支え合う地域をめざして」

高齢の方が増えていくなかで、地域の支え合いが以前よりも求められています。地域の困りごとを共有することで解決策を出したり、これまで個別に行われていた活動を結び付けたりすることができれば、より生活しやすい地域になっていくでしょう。

誰もが暮らしやすい地域をつかっていくために、地域の皆さんの活動や困りごとを把握していきたいと考えています。皆さんの地域での活動や思いをぜひ教えてください！



コーディネーターの山本です！地域の皆さんと協力しながら、暮らしやすい地域づくりの推進役として活動していきますので、よろしくお願いいたします！

お問合せ

〒386-2201

上田市真田町長7190番地（真田総合福祉センター内）

電話：（0268）72-8055 有線：2080

ようこそ中組自治会へ!!

No. 2

今回は第二回と致しまして、宮田裕太様（36歳）・妻の南様（31歳）ご夫婦とご家族を紹介させていただきます。

裕太さんは、真田町下郷沢の宮田家の長男として誕生され、南さんは現在の千曲市あんずの里で産声を上げられました。縁有ってご結婚され14年が経ち、子宝にも恵まれ、充実した毎日を送られて居ります。

さて、今回ご紹介させて頂く本題に入りますが、なぜ移住先を中組にしたかと申しますと、裕太さんは家を建てるに当たって長男であるため両親の老後を見なくては行けないので真田町から出たくない、又南さんの実家へ行くのに松代経由が便利な地区と言うことで中組自治会を選んだそうです。

そうした時不動産屋さんの紹介があり、この土地を購入、家を新築して現在に至っております。

「早いもので中組へ移住し10年経ちましたが、ご近所の皆様とも仲良くさせて頂き毎日楽しく生活を送らせていただいている。」との事です。

その10年の間に、裕太さんは公民館の役員など自治会の役員として大変尽力されています。特に現在は中組消防部の会計として活躍されて居ります。

以上、宮田さんご夫婦ご家族のご紹介をさせて頂きました。

紹介者 通信委員 柳沢 邦男



Saanの夏メニュー 【サラダ麺】初めました!



お問い合わせ ☎0268-72-8100

発行元：「真田 生き生きふるさと通信」広報委員会
事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内
〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111
TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010
ホームページ <http://www.azarean.jp>
E-mail keijinfukushi@azarean.jp

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。

